



圧倒的な彩光を放つ光マンダラドームと和の趣あふれる阿波踊り竹人形の競演が祭りの夜を彩り、3日間で9万5千人を動員した。幻想的な光に包まれた牛岐城趾公園特設ステージでは、天真爛漫な踊り子たちの乱舞が祭りの高揚感をいっそう高め、多くの観客を魅了した。

ひとりに「踊り」といってもさまざま。これだけパフォーマンスが見られるのは、阿南の夏まつりならでは。ほとぼしる情熱はやがて渦となり、祭りの活況を色あせない感動として人々の心に焼き付けていった。

【阿南の夏まつり 2012 フォトリポート】 ひと夏の祭りにささげた

二拍子の躍動「阿波踊り」、独創的パフォーマンスで圧倒する「ストリートダンス」、喜怒哀楽を自由奔放に表現する「ジャズダンス」、南国情緒あふれる「フラダンス」、ありし日のナカちゃんをしのぶ「ナカちゃん音頭」など、多彩な踊りが阿南の夏を熱くした。ほとぼしる情熱をひと夏の祭りにささげた踊り子たちの3日間を、写真とともに振り返る。

情熱

ほとぼしる



10万個のLEDが夜空を彩る
光マンダラドーム



50体製作された
等身大「阿波踊り竹人形」

第9期光の天使 高田 真由さん (18歳・那賀川町)

幼少の頃から親しい美容師のすすめで光の天使に応募。「阿南は光が有名なまち。積極的にPRしていきたい。」と、えくぼスマイルを輝かせた。

